

みんなの心のよりどころ

# ホッとステーション

2025(令和7)年度地域連携活動支援事業  
(令和6年度WAM助成補正予算事業)



(事務局)特定非営利活動法人リンク

令和6年度千葉県ちばコラボ大賞  
(千葉県知事賞)受賞事業

# 目次

|                             |        |
|-----------------------------|--------|
| ●表紙                         |        |
| ●目次                         | P1     |
| ●刊行にあたって ホットステーションの“進化”へ    | P2     |
| 1 ホットステーションとは 事業概要・特徴       | P3     |
| 2-1 ホットステーション協同機関紹介（市町村別一覧） | P4     |
| 2-2 ホットステーションマップ 千葉県地図      | P5-6   |
| 2-3 ホットステーション協同機関紹介（市町村別）   | P7-12  |
| 2-4 ホットステーション協同機関紹介（分野別）    | P13    |
| 3 ホットステーションプロジェクト＜5つの機能＞    | P14    |
| （1）ベンチプロジェクト                | P14    |
| （2）クールステーション                | P15    |
| （3）ホットステーション式相談支援           | P15    |
| （4）食のまるっと連携システム             | P16    |
| （5）SNS活用による防災ネットワークと平時の情報発信 | P16    |
| 4 地域住民の声                    | P17    |
| 5 協力機関同士の連携とネットワーク構築        | P18    |
| 6 ホットステーション物語               | P19    |
| エピソード紹介（軽費老人ホーム・訪問看護ステーション） |        |
| 7 ホットつながるフォーラム2025          | P20    |
| 8 ホットステーション活動の外部視点からの分析・評価  | P21    |
| （1）事業の背景と地域づくりの理念           | P22    |
| （2）4年間の量的・質的变化              | P23-24 |
| （3）主要事業における成果と住民満足度の検証      | P25    |
| （4）制度的・政策的視点からの考察           | P26    |
| （5）総合評価と持続的発展に向けた提言         | P26-27 |
| 9 ホットステーション活動の分析・評価を受けて     | P28-29 |
| 10 参考資料                     | P30-31 |
| 11 プロモーション動画                | P32    |
| 12 事務局・発行元情報                | P32    |

# ホッとステーションの“進化”へ

2022年4月に始まったホッとステーション事業も4年が経過しました。

一人一人にとってのいい居場所、馴染みの居場所、落ち着く居場所を、市町村の枠組みを越えてみんなでシェアできたら、少しでも心が落ち着く機会となったり、出会い・交流の場が増えるだろう…という思いから始まりました。

一人・一団体・一地域・一行政が徐々に理解を示していただき、協同してくれること、それが人伝い・機関伝い・行政伝いで数年かけて広がりました。

- ❖ 1年目…○ひたすらに事業の主旨と活動を知ってもらうための奔走・迷走・模索期間  
○協力してくれる機関から一緒に活動を行う協同機関としての活動場所の拡充
- ❖ 2年目…○夏の避暑場所・クールステーションを通じた居場所の存在意義の確立  
○官民協働事業のカタチの形成と協同機関間のネットワーク活用の始まり
- ❖ 3年目…○食のまると循環システム及び介護保険・地域生活支援事業との連動活動による「相互メリットを生む活動への発展」「既存制度への活用」への反映  
○千葉県多団体協働モデル事業として『ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)』受賞
- ❖ 4年目…○市町村・地域におけるホッとステーション活用モデルとなりえる地域の拡充  
○千葉県全域への活動拡充と制度活用や企業等との地域づくり

本事業の企画当初、「いい居場所＝様々な店舗(場所)」をイメージでしたが、事業が進むにつれ、居場所が「避暑場所」になったり、「出会い・待ち合わせの場」「世代間交流のきっかけ」「一人暮らしの方の安否確認場所」「児童の見守り」「目印の役割」「地域貢献のきっかけ」「散歩のきっかけ」「イベントで居場所を作りたい」「座る」という行為を活用」「他の活動・広報手法が参考になる」「制度活用」など…、想定以上・想定外の活用を、地域の方々や協同機関の皆様が見出してくれています。

そう考えると、ホッとステーション事業自体は大それたものではなく、「居場所を多角的に捉えただけの一つの活動」なのかもしれません。しかし、それが、人が動く動機づけや、様々な物事に転換して活用する際の歯車が回る“きっかけ”となっていると思います。

「地域が少しでも良くなるように」と強く望み、皆様の意見を取り入れ続けることが、結果として、地域を越え、世代間を越えて活用できる事業への“進化”に繋がりました。これからも皆様がホッとステーションの可能性を引き出し、地域の活動や施策に活用して下さったり、地域独自の活動にフォーラムを変えて活用してもらえたりしてもらえるよう、今後も地域の方々や協同機関、行政の方々と活動を盛り上げていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

(ホッとステーション実行委員会事務局 吉井)

# 1. ホッとステーションとは 事業概要・特徴

「**ホッとステーション事業**」とは、千葉県等のいたるところで『気軽に居てもいい』場所を増やす活動

**【点】**となる様々な**居場所**()を

➡ **【線】**となる**ネットワーク**で繋ぐことで、  
(情報共有や協同連携活動 等)

➡ **【面】**となる**地域**が活性化し、  
**過ごしやすい地域社会**とする。

## 事業概要

地域住民誰もが、身近な地域で気軽に安心して過ごせて、時には相談もできる場所、社会とのつながりがもてる地域社会の実現を目的として下記の活動を展開する。

①千葉県内の機関・団体に協働してもらい『気軽に居てもいい』居場所（ホッとステーション）を設置する。②一部の機関で相談スポットやボランティアができる場所、ちいき(子ども)食堂やフードバンク活動を展開する。③協同機関のネットワークを構築して、平時の地域情報共有と発災時の協力体制の確保が図れるネットワークを作る。④夏季限定で熱中症予防活動として「クールステーション」としての役割を担う。そして、居場所のマップ化を進め住民が活用しやすい情報ツールを作成していく。

## 特 徴

- ①市町村の垣根を越え、一人一人の生活圏域を対象として事業を展開する。
- ②ホッとステーション（居場所）を基盤として、複数の活動を連携させて実施する事業。
- ③性別、年齢、障害の有無などを問わない全世代を対象とした事業。
- ④地域の機関・協力団体が「人・モノ・情報・場所」等を可能な範囲で協力し成り立つ事業。
- ⑤孤独・孤立、ひきこもり、生活困窮者、就労・居場所等にかかる活動自体を社会資源の一つとして活用する事業。
- ⑥「ここに集まれ」ではない「いろんな場所があるよ・よかったら使って」の場所を増やす。
- ⑦「利用する人・活用してもらう人(機関)・地域社会」が相互に『三方良し』の関係。



①ステッカー



②のぼり旗



③ベンチ



④タペストリー

## 2-1. ホットステーション

### 協同機関紹介<市町村別>

※協同機関一覧はコチラ⇒⇒



**ホットST 234機関**  
**クールST 174機関**  
**市町村数 21自治体**  
 (2026.3.31現在)

#### 山武市(44ヶ所)

○リンク・山武事業所 ○グループホームなるとう ○小規模多機能型居宅介護なるとう ○さんさんbe ○山武都市教育会館  
 ○さんむわくわく館 ○グループホームはすぬま ○すえひろ工房やまぶき ○梶いちご園 ○シーブリーズ ○大正寺  
 ○山武市成東地域包括支援センター ○山武市松尾蓮沼地域包括支援センター ○松尾高等学校 ○津辺区公民館 ○栄進ホーム  
 ○リハビリデイサービス成東 ○アウィン学習塾・成東校 ○山武市山武地域包括支援センター ○鈴木肉店 ○(株)池田屋  
 ○デイサービスセンターこころ ○山武市社会福祉協議会 ○コミュニティハウスひろば ○おしゃれサロンTAKI  
 ○山武市社会福祉協議会・山武連絡所 ○山武市社会福祉協議会・蓮沼連絡所 ○コミュニティカフェとーえむ ○蓮沼郵便局  
 ○福笑屋珈琲 ○特別養護老人ホーム海 ○日向ぼっこ ○青松苑・光洋苑 ○成東郵便局 ○ササハラ薬局 ○大高醤油株式会社  
 ○JA山武郡市緑の風成東店 ○LOVES COMPANY ○法宣寺 ○楽天堂訪問介護 ○特別養護老人ホーム北総長寿苑  
 ○(株)住まいの発見館 ○ケアステーション渚 ○ジロイム山武九十九里ホール

#### 東金市(26ヶ所)

○城西国際大学 ○東金高等学校 ○本福寺 ○カバの家  
 ○アウィン学習塾・東金校 ○介護老人福祉施設両縦  
 ○地域生活支援センターゆりの木 ○サンフラワー  
 ○おひさま文庫 ○フレンズ東金 ○あさいケアセンター  
 ○東金市東部地域包括支援センター ○法光寺  
 ○東金市西部地域包括支援センター ○カバの店  
 ○ヤッサウェーブ ○パルシステム千葉東金センター  
 ○コイノニアコミュニティスペース ○ミキティランド  
 ○灰吹屋鈴木薬局 ○美容室シエスタ ○木原ストアー  
 ○学び舎・ゆーすぽーと ○自立援助ホームParasol  
 ○ジロイム東金日吉台ホール ○小林工業

#### 九十九里町(21ヶ所)

○山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター  
 ○アウィン学習塾・九十九里校 ○サンライズ九十九里 ○片貝薬局  
 ○九十九里町役場 ○九十九里高校 ○片貝薬局 ○(株)アイ建  
 ○ちどりの里 地域包括支援センター ○浅岡建設株式会社  
 ○いわし交流センター海の駅九十九里 ○西野区民館 ○食事処望月  
 ○西野岡どんぐり公園 ○九十九里こども食堂(妙覚寺)  
 ○真亀新田自治会 ○OaNt~アント~ ○コテージやまいち  
 ○作田岡やすらぎの家 ○大山畜産こども食堂  
 ○放課後等デイサービスすずらん

#### 大網白里市(16ヶ所)

○小規模多機能かきつばた ○ほほえみの里 かきつばた ○円融寺  
 ○カサ・ロサダ ○小高モータース ○マリノハウス ○りんごの歌  
 ○ジョブファーム ○大里総合管理 ○おおあみの里 ○中村自動車  
 ○大網白里まちづくりサポートセンター ○東雲堂大網 ○おしゃ楽  
 ○ぶらすわん ○中関税理士事務所

#### 横芝光町(15ヶ所)

○まちなか広場えみふる ○むすぶ ○茶話処一休  
 ○job school.com ○fu~fu~café ○LECJapan  
 ○特別養護老人ホーム吉祥苑 ○横芝光町立図書館  
 ○放課後等デイサービスきぼう ○楽天堂多機能型横芝光  
 ○アウィン学習塾・横芝校 ○みんなの居場所ありのまま  
 ○中華料理幸楽 ○横芝駅前情報交流館「ヨリドコロ」  
 ○健康づくりセンタープラム

#### その他圏域(22ヶ所)

○多古新町ハウス ○とらや ○カネムラ ○あぶらや ○ARUKU  
 ○交流拠点施設げんき館 ○ゾーイ・ル・関東 東関東支店 ○明朗塾  
 ○コスモスピレッジ ○がすさフードバンクてとて ○栗山房の駅  
 ○就職するなら明朗塾 ○明朗カレッジ事業所 ○せんなり村  
 ○八街市障がい者就労支援 ○八街市北部地域包括支援センター  
 ○らいふあっぷ習志野 ○らいふあっぷ College ○夷隅ひなた  
 ○茶の間トミー ○あーばん ○梅檀荘 ○やます本店 ○新生房の駅  
 ○鎌ヶ谷房の駅 ○やます蔵風土村

#### 芝山町(10ヶ所)

○第2パレット ○芝山町役場 ○楽天堂そら  
 ○芝山町社会福祉協議会 ○老人保健施設二川苑  
 ○空の駅 風和里しばやま ○道の駅 風和里しばやま  
 ○航空科学博物館 ○エハラビーナツ ○真行寺建設

#### 千葉市(68ヶ所:緑区45 中央区13 若葉区8 稲毛区1 花見川区 1)

【緑区】 ○千葉市生活自立・仕事相談センター緑 ○ほかほか介護おてんとさん ○デイサービスおてんとさん ○花福  
 ○(有)しらい ○キッスルームおてんとさん ○(株)ウイング ○なごみ訪問看護ステーション ○(福)うぐいす会からは〜い  
 ○東雲堂 土気店 ○おゆみ野BASE ○パワーアップステーションひまわり ○応援家族あすみが丘 ○グループホーム木かげ  
 ○千葉市あんしんケアセンター土気あすみが丘出張所 ○鏡戸病院 ○加藤商店 ○あしたば職員住宅 ○たこ焼き番長 ○栄清軒  
 ○土気中央町内会 ○(特非)DAISY ○ハッスルスマイル土気 ○あすみが丘4丁目自治会館 ○越智いきいきセンター ○大友食堂  
 ○緑いきいきプラザ ○学研ココファンあすみが丘 ○悠リビング土気 ○キャロットハウス ○千葉市緑区障害者基幹相談センター  
 ○おゆみ野公民館 ○トータル介護サービスアイ ○森川商店 ○イロドリ ○軽費老人ホームほんだくらぶ ○菅田公民館  
 ○モイスティヌ菅田サロン ○千葉南病院クニナ保育園 ○セルブ・ガーデンハウス ○ヤックス鎌取店 ○おじいちゃん家  
 ○TOKOYA ○久野屋本店 ○けやき園 ○DCM鎌取店

【中央区】 ○Ozido net ○フードバンク千葉 ○訪問看護ステーションひとみ ○ワークステーションりべるたす  
 ○りべるたす ○ピアポート千寿苑 ○西千葉アトリエカフェびりーぶ ○きっず・ふぉーと ○千葉女子専門学校  
 ○SOU訪問看護ステーション蘇我 ○千葉市あんしんケアセンター千葉寺 ○みんなのたまりばわ ○freeval川戸

【若葉区】 ○マザーズ・コンフォート ○バンブーアイランド ○I TUMO ○こんばす(TERAKOYA) ○中野学園  
 ○OUR RESIDENCE ○SOU訪問看護ステーション若松 ○千葉市生活自立仕事相談センター若葉

【稲毛区】 ○波のいえ 【花見川区】 ○横戸房の駅

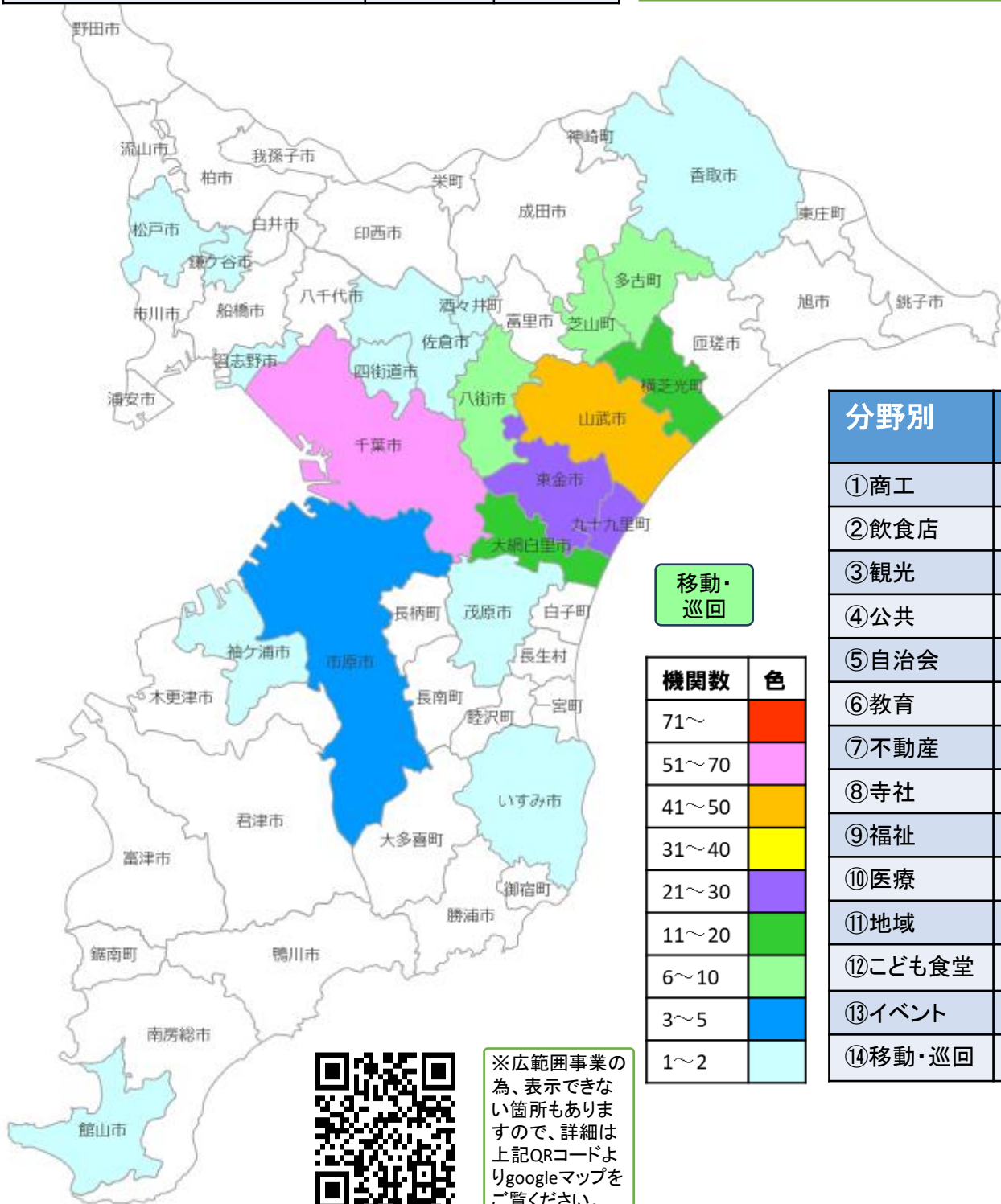
#### 移動販売・巡回相談(アウトリーチ)(6ヶ所)

○ぐるぐるカー(女性支援) ○ぐるぐるカー(校内居場所カフェ) ○軒先珈琲さつきが丘 ○カシワイロースタリー  
 ○エルミタージュTOGO

## 2-2. ホットステーション マップ一覧(2026年3月31日現在)

| 活動項目             | 2022年度<br>(1年目) | 2025年度<br>(4年目) |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 協同機関             | 69              | 234             |
| 実施地域(市町村)        | 8               | 21              |
| ベンチ設置            | 43              | 168             |
| クールステーション        | 2023年度<br>から    | 174             |
| ホットdeネットワーク(SNS) | 39              | 98              |

**県内[21市町村]で活動中**  
 山武市(44)／東金市(26)／大網白里市(16)／九十九里町(21)／横芝光町(15)／芝山町(10)／千葉市(68)／多古町(5)／酒々井町(1)／茂原市(1)／袖ヶ浦市(1)／八街市(6)／佐倉市(1)／四街道市(2)／習志野市(2)／いすみ市(1)／館山市(2)／松戸市(1)／市原市(3)／鎌ヶ谷市(1)／香取市(1)／移動・巡回(6)



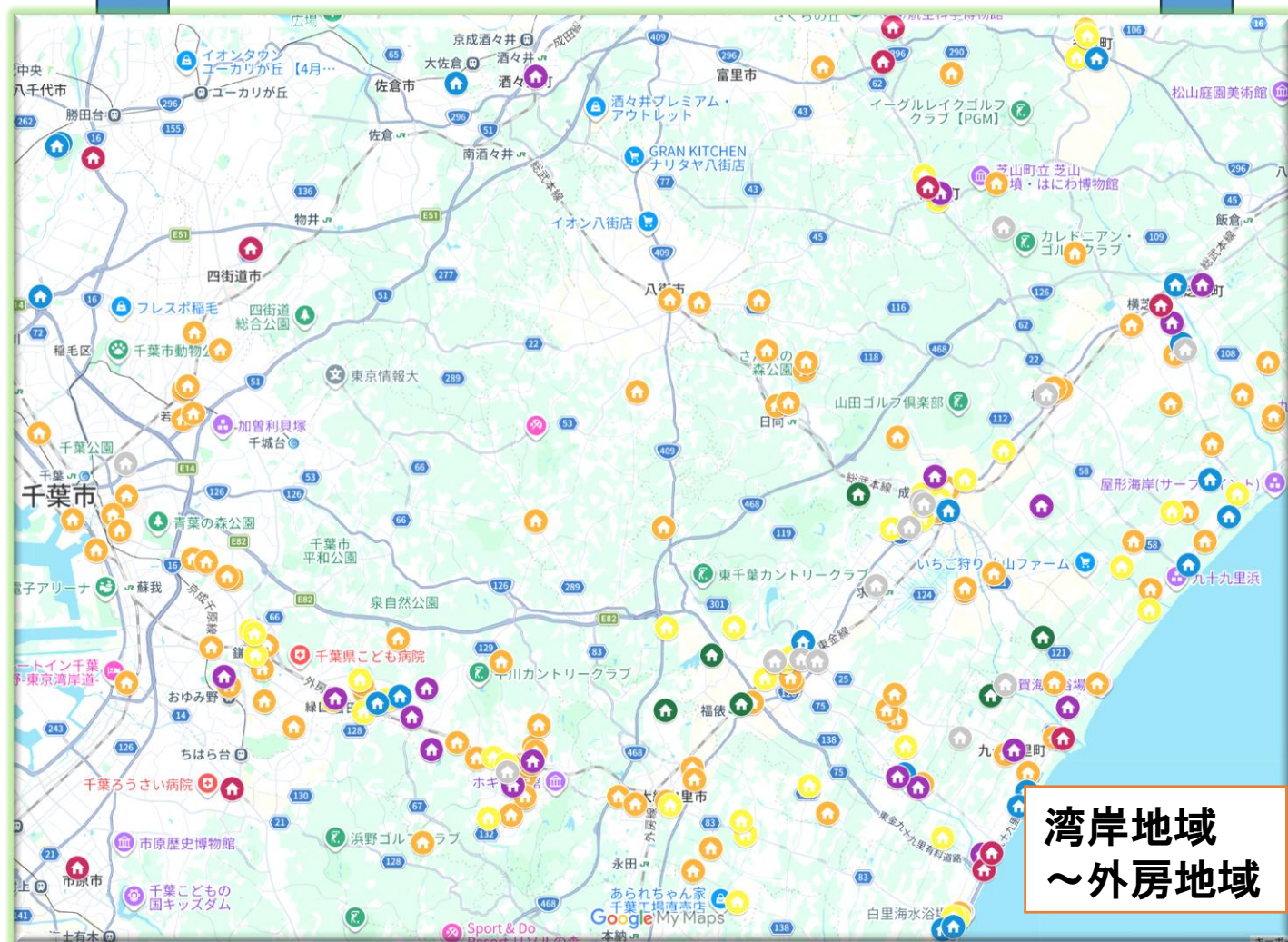
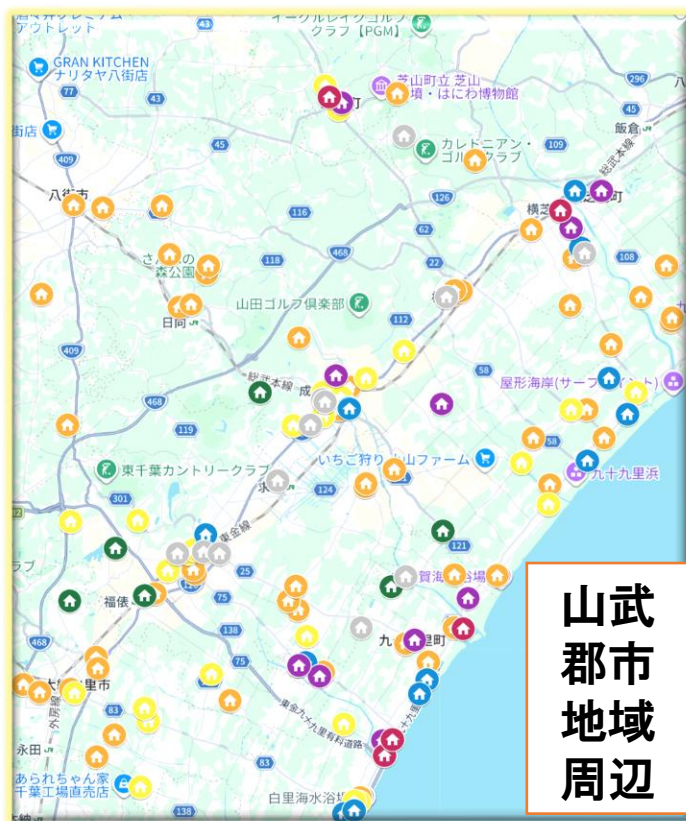
※広範囲事業の  
為、表示できな  
い箇所もありま  
すので、詳細は  
上記QRコードよ  
りgoogleマップを  
ご覧ください。

| 分野別    | 234<br>機関 |
|--------|-----------|
| ①商工    | 41        |
| ②飲食店   | 16        |
| ③観光    | 14        |
| ④公共    | 10        |
| ⑤自治会   | 6         |
| ⑥教育    | 11        |
| ⑦不動産   | 3         |
| ⑧寺社    | 5         |
| ⑨福祉    | 97        |
| ⑩医療    | 11        |
| ⑪地域    | 8         |
| ⑫こども食堂 | 5         |
| ⑬イベント  | 1         |
| ⑭移動・巡回 | 6         |

| 機関数   | 色    |
|-------|------|
| 71～   | 赤    |
| 51～70 | ピンク  |
| 41～50 | オレンジ |
| 31～40 | 黄色   |
| 21～30 | 紫    |
| 11～20 | 緑    |
| 6～10  | 薄緑   |
| 3～5   | 青    |
| 1～2   | 薄青   |

# ホッとステーション協同機関分布図

❖千葉市(湾岸地域)～山武郡市(外房地域)を中心に千葉県全域へ拡充している❖



# 2-3 市町村別 実施状況

## 山武市 44



2.サンク 山武事業所



6.山武市松尾通沼地域  
包括支援センター



7.グループホームなるとう  
6.小規模多機能型居宅護  
なるとう



9.グループホーム  
はすめ



11.オオひろ工房  
やまぶき



13.山武市成東地域包括  
支援センター



15.山武市社会福祉  
協議会



16.山武市社会福祉  
協議会山武連絡所



17.山武市社会福祉  
協議会連沼連絡所



22.池田屋



23.さんむわくわく館



25.山武市山武地域包括  
支援センター



28.ア・ウィル教育研究所  
成東校



782.特別養護老人ホーム  
海



39.さんさんbe

40.日向ぼっこ



41.コミュニティハウス  
ひろは



42.LOVES COMPANY



43.青松苑 光洋苑



46.大正寺



77.コミュニティハカフェ



54.緑の風成東店



56.松尾高等学校



57.デイサービスセンター  
こころ



61.法宣寺



62.住まいの発見館



81.成東郵便局



92.家天堂ホームケア  
山武東



93.福笑屋珈琲



97.北総長寿苑



99.ササハラ薬局



104.山武教育会館



10.蓮沼郵便局



129.ケアステーション渚



131.大高醤油



139.梶いちご園



140.おしゃれサロンTAKI



161.栄進ホーム



166.鈴木肉店



182.津辺区公民館



183.ジロイム  
山武九十九里ホール



203.レストラン  
シーブリーズ



225.上里公民館

# 東金市 26



# 大網白 里市16



# 九十九里町21



# 横芝光町15



## 芝山 町10



12. 第2パレット



18. 芝山町社会福祉協議会



19. 芝山町役場



26. 二川苑



53. 航空科学博物館



36. 空の駅  
風和里しばやま



37. 道の駅  
風和里しばやま



73. 楽天堂 そら



86. エハラビーナッツ



163. 真行寺建設

## 八街市 6



98. コスモビレッジ



171. 明朗塾



172. 就職するなら  
明朗塾



173. 明朗カレッジ



174. 八街市障がい者就労  
支援事業所



202. 八街市北部地域  
包括支援センター

## 多古 町 5



48. JRバス関東  
東関東支店



67. 多古新町ハウス



68. あふらや



69. とらや



70. カネムラ

## 市原市 3



227. やます本店



229. 新生房の駅



230. 草刈房の駅

## 袖ヶ 浦市 1



134. かずさ  
フードバンクまで

## 四街 道市 2



2179. 四街道まごころ  
クリニック



228. 栗山房の駅

## 習志 野市 2



187. らいふあつぷ習志野



188. らいふあつぷCollege

## 館山 市 2



195. お茶の間トミー



196. グループホーム  
あーばん

## 松戸 市 1



207. 栢植荘

## 鎌ヶ 谷市 1



232. 鎌ヶ谷房の駅

## 佐倉 市 1



170. せんなり村

## 茂原 市 1



128. ARUKU

## いす み市 1



190. 東隅ひなた

## 香取 市 1



13. やます蔵風土村

## 酒々 井町 1



102. 酒々井町交流  
施設げんき館

# 千葉市 緑区45

## 千葉市（全体68）



3. 千葉市生活自立仕事  
相談センター緑



74. ウイング



84. からはい



89. ぽかぽか介護  
おてんとさん



90. デイサービス  
おてんとさん



91. キッズルーム  
おてんとさん



96. なごみの陽  
訪問看護ステーション



111. Ssmile STATION



113. パワーアップ  
ステーションひまわり



118. 応援家族あすみが丘



123. 千葉市あんしん  
ケアセンター土気



125. グループホーム木かげ



126. 鏡戸病院



130. 加藤商店



136. 中野学園  
あしたば職員住宅



138. しらい



146. たこ焼番長



147. 土気中央町内会館



148. DAISY



149. 運動リハビリデイサービス  
ハッスルスマイル土気



151. あすみが丘  
4丁目自治会館



153. 千葉市緑  
いきいきプラザ



154. 千葉市越智  
いきいきセンター



155. 字研ゴゴデン  
あすみが丘



156. 悠リビング土気



157. キャロットハウス



160. 千葉市緑区障害者  
基幹相談センター



176. トータル介護  
サービスアイ



198. 大友食堂



199. 森川商店



204. 軽費老人ホーム  
ほんだくらぶ



205. 誉田公民館



206. モイスティス  
誉田サロン



208. イロドリ



209. おゆみ野公民館



210. 花福



212. 千葉南病院  
クニナ保育園



213. ヤックス鎌取店



214. TOKOYA



215. 栄清軒



219. 久野屋本店



221. セルプ・ガーデン  
ハウス



222. けやき園



223. おじいちゃん家



224. DCM鎌取店

## 千葉市 [中央区]13



110.りべるたす



112.ワークステーション  
りべるたす



64.フードバンクちば



71.zidu.net



101.訪問看護  
ステーションひとみ



177.SOU訪問看護  
ステーション 蘇我



186.千葉市あんしん  
ケアセンター千葉寺



117.ピアポート千寿苑



137.西千葉アトリエカフェ  
びりーぶ



144.きつず・ふおーど

## 千葉市 [若葉区]8



121.こんぱす  
(TE RA KO YA)



122.OUR RESIDENOE



116.マザーズ・コンフォート



119.バンブーアイランド



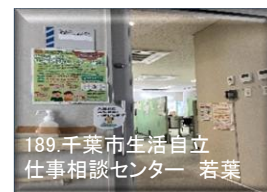
120.ITUMO



135.中野学園



178.SOU訪問看護  
ステーション 若松



189.千葉市生活自立  
仕事相談センター 若葉

## 千葉市[花 見川区]1



231.横戸房の駅

## 千葉市 [稲毛区]1



211.波のいえ

## 移動販売・巡回相談 6



191.ぐるぐるカー  
(校内居場所カフェ)



197.学びのプラット  
フォーム事業



200.軒先珈琲さつきが丘



217.カンワイロースタリー



181.ぐるぐるカー  
(女性支援)



218.エルミタージュTOGO

## ①商工(41)



185. ふるすわん



139. 梶いちご園

## ②飲食店(16)



132. StreetFactory&Cafe  
aNt〜アント〜



68. あふらや

## ⑭移動・巡回(6)



197. 学びのプラットフォーム事業



200. 軒先珈琲  
さつきが丘

## ③観光(14)



229. 新生房の駅



94. コテージ やまいち

## ⑬イベント(1)



60. CJapan

## ⑫こども食堂(5)



132. 九十九里こども食堂  
(妙賞寺)



144. きつす・ふおーと

## ④公共(10)



102. 酒々井町交流点  
施設げんき館



159. 真亀新田自治会

## ⑤自治会(6)



225. 上里公民館



220. 作田岡やすらぎの家

## ⑪地域(8)



201. みんなのたまりば わ



134. かすと  
フードバンクでとて

## ⑥教育(11)



216. 千葉女子専門学校



88. 九十九里高等学校

## ⑩医療(11)



179. 四街道まごころ  
クリニック



96. なごみの陽  
訪問看護ステーション

## ⑦不動産(3)



77. 大里総合管理



161. 栄進ホーム

## ⑨福祉(97)



202. 八街市北部地域  
包括支援センター



160. 千葉市緑区障害者  
基幹相談センター

## ⑧寺社(5)



143. 本福寺



50. 円融寺

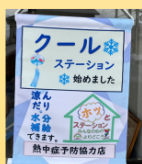
# 2-4 分野別 実施状況

### 3. ホットステーションプロジェクト ＜5つの機能＞

# 234機関

(2026.3.31現在)  
が協力してくれています

## 2 クールステーション 熱中症対策を地域で協力



## 1 ベンチプロジェクト 「座」から始まる交流のきっかけ

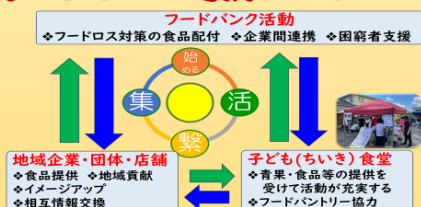


## 3 ホットステーション式相談支援



# ホット ステーション のつながりのいろいろ

## 4 食のまると連携システム



## 5 SNSネットワーク

❖ 平常時  
⇒ 情報共有  
❖ 発災時  
⇒ 災害支援



## ベンチ設置機関 《168機関》

## 1 ベンチプロジェクト ～「座」が繋ぐ人の輪交流活動～

### 【方法】

**敷地内、もしくは管理できる場所にベンチを置いて  
もらい、地域の方々に活用していただく**

### 【背景と内容】

コロナ禍、人と人とが交わることを良しとしない時代があり、孤立孤独の問題が深刻化した。そこで撤去されたスーパーやコンビニ、公共機関等のベンチや様々な場所で新たにベンチを設置し、改めて“交流の場(居場所)”とする。そして、シンボルマークのベンチを活用し、人と人とがつながるきっかけを作り、様々な地域で、様々な豊かな発想で、様々な活動や制度に活用していく活動。

※地域のために何かしたいと考えている機関のはじめの一步の活動に最適



### 【実践例1】自治体での制度活用の波及効果 ＜千葉市緑区(土気地区→誉田地区)＞

介護保険制度における生活支援体制整備事業で、“気軽に外出したくなるような地域資源をつくろう。”という活動の中で、ベンチを活用して散歩マップを充実させていこうと取り組んでいた地域の活動が、緑区全体で取り上げるようになり、隣の地域でもベンチプロジェクトが発動され、生活支援コーディネーターと共に、計画的に地域の居場所と成り得る店舗への設置が進んでおり、ベンチを媒介にした地域づくりが展開されている。

### ＜九十九里町＞

海岸沿いのビーチライン(産業道路)での散歩中の高齢者が高さの低い縁石に座って休んでから立ち上がろうとする“キツイ”という言葉から、生活支援体制整備事業として、地元企業の協力を得てベンチを設置。行政・社会福祉協議会等と共に今後の更なる発展を考えていく。

### 【実践例2】企業・団体の活用への期待 ＜房の駅(土産物・直売所)での広域活用＞

様々な地域から来客のある、千葉県内の5自治体7ヶ所の“房の駅[土産物・直売所]”等がホットステーション協同機関となった。SDGsの活動に積極的に取り組んでいる企業であり、地域を巻き込んだ今後の活用を応援していきたい。

### ＜出前出店・アウトリーチ支援での有効活用＞

2025年度は重点的に「移動・巡回」での活動されている機関への協同の声掛けを行った。①高校での校内居場所カフェ、②移動販売の軒先珈琲、③こどもの学びの場、④女性支援のアウトリーチなど、居場所活動の可能性を広げてくれる機関が増えた。

## 2

## クールステーション（熱中症対策の連携）【行政・全協同機関の90%程度】

### 「官民協働」で行う熱中症対策

ゆっくりしている居場所(通年)

⇒夏季限定の涼める居場所(7月～9月)

1. 表示方法：「タペストリー」を掲示（右図）
  2. 実施内容：熱中症防止のため下記のことを実施
    - (1) 涼み場所の提供…涼み処の提供(店舗毎にルール設定)
    - (2) 物品提供…①水(ペットボトル)・②うちわ
- ※「必要な時」「必要な人」へ提供(判断は店舗にお任せ)



クールステーション協力機関

| 年度   | 2023 | 2024 | 2025 |
|------|------|------|------|
| 登録機関 | 89   | 127  | 174  |

### 行政主導「クーリングシェルター・涼み処」

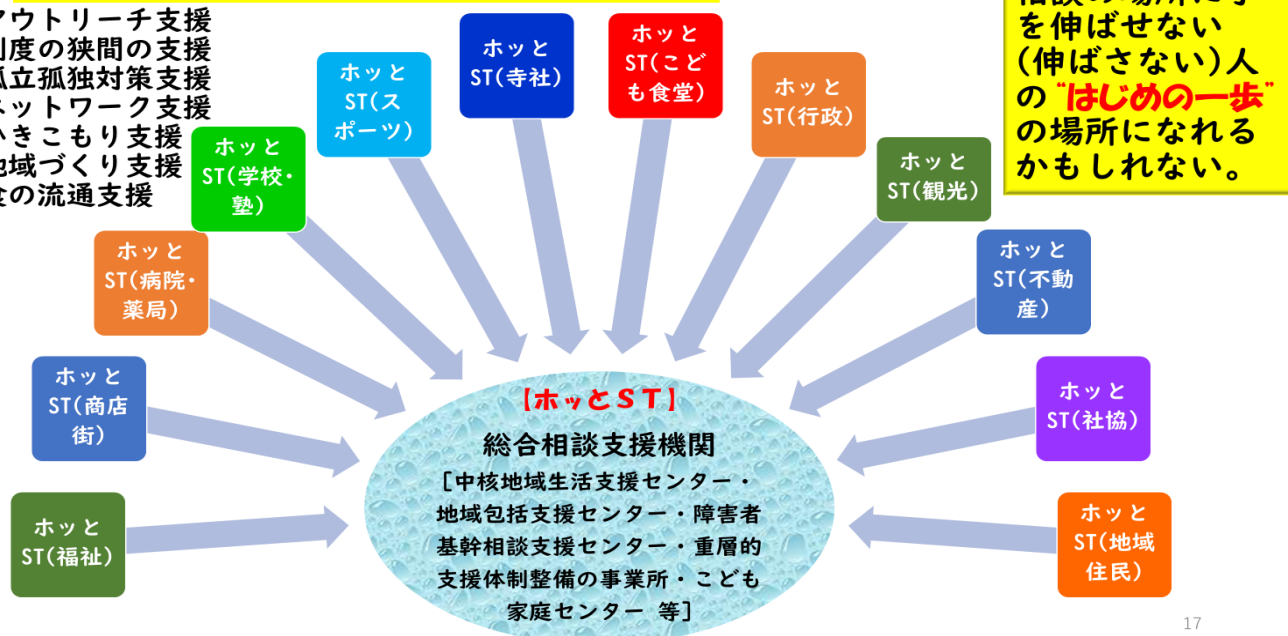


相互に手を伸ばし合うことで、気軽に利用できる地域に避暑場所が増えています。

### 官民協働「クーリングシェルター」

## 3 ホットステーション式相談支援

- ①アウトリーチ支援
- ②制度の狭間の支援
- ③孤立孤独対策支援
- ④ネットワーク支援
- ⑤ひきこもり支援
- ⑥地域づくり支援
- ⑦食の流通支援



17

| 相談支援可能機関 | 相談支援機関 | 医療保健機関 | 高齢者支援機関 | 障害児者支援機関 | こども支援機関 | 行政機関 |
|----------|--------|--------|---------|----------|---------|------|
| 機関数      | 36     | 12     | 50      | 40       | 33      | 4    |

医療福祉等生活関連の相談可能機関はたくさんある。しかも、その他、様々な業態が加入しているため、様々な知識や情報、社会資源や関わりが取りやすくなる。このつながりの「価値」をさらに活用しやすく、効果的なネットワーク活用を考えていきたい。

## 4 食のまろっと連携システム

**子どもの居場所・貧困対策・フードロス対策・エシカル教育**

食の「地集地配」を通じたネットワークづくり、食の有効活用によるフードロス活動等

### フードバンク活動

❖フードロス対策の食品配付 ❖企業間連携 ❖困窮者支援



### 地域企業・団体・店舗

❖食品提供 ❖地域貢献  
❖イメージアップ  
❖相互情報交換

### 子ども(ちいき)食堂

❖青果・食品等の提供を受けて活動が充実する  
❖フードパントリー協力



フードバンク食品取扱量

|    | 2022 | 2023           | 2024            | 2025            |
|----|------|----------------|-----------------|-----------------|
| 受取 | 24回  | 108回<br>(5.6t) | 319回<br>(11.7t) | 471回<br>(38.0t) |
| 提供 | 74回  | 219回<br>(3.3t) | 407回<br>(10.7t) | 728回<br>(28.3t) |

ちいき・こども食堂等実及びバックアップ回数

|      | 2022  | 2023  | 2024  | 2025  |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 回数   | 21回   | 34回   | 55回   | 115回  |
| 参加者数 | 1995人 | 3570人 | 4719人 | 6910人 |

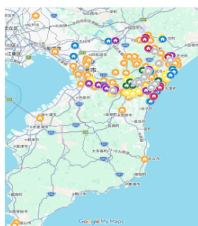
※支援対象機関の概ねの実施回数と人数

## 5 SNS活用による防災ネットワークと平時の情報発信

LINEWORKS・googleマップによる情報発信／広域の相互災害ネット

### 平常時

協同機関の  
情報交換・  
相互周知協力



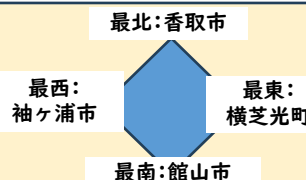
### 発災時

#### 災害支援ネットワーク

❖リアル災害情報共有  
❖人的・物的相互協力



2027年度  
LINEWORKS登録数  
97人(機関)



2027年度  
災害備蓄品取扱量  
(フードバンクさんぶのみ)  
9.6t

※公的機関はセキュリティ等の関係で登録が伸び悩むが、徐々に増加している。

## 4.ちいき食堂・フードバンク・クールステーション機関から寄せられた地域住民の声



### <「こども・地域食堂」参加の声>

#### ◆ミキティランド（東金市）

- ・ホッとステーションを通じフードバンクとのつながりができました。フードバンク活動のおかげで、いつも運営が助かっています。
- ・安心してこどもを預けられる場所です。美味しい料理になんだかほっこりした気分になり心が優しい気持ちになります。
- ・家ではyoutubeやゲームばかりですが、ミキティランドに行くときは携帯を持っていったことはありません。いろいろなイベントや企画もあり、こどもたちにとってプラスにしかならない場所です。

#### ◆コネクト99（九十九里町）

- ・毎月飲み物をいただくことができ、そこにかかる経費を食材の方へまわすことができます。それによって、こどもたちに提供できる食事内容が充実したものになっています。本当にありがたいです。
- ・こどもたちからは「たくさん食べられて嬉しい!」「ともだちと食べられることが嬉しい!」との声があります。親御さんからも「月1回の友人とのコミュニティの場として、こどもたちにとっても友だちと会える場としてすごくありがたいです」という声をいただいております。
- ・今後も月に1度の子ども食堂ですが、長く続けていけるよう頑張っていきます。



### <「千葉市緑区より」参加の声>

#### ◆緑区生活支援コーディネーターより

高齢者の移動支援の一環として、地域住民・ホッとステーション事業のご協力いただき、誉田の地域にも、鮮やかな緑色のベンチを数か所設置させていただきました。ベンチを設置した後の様子で「学校帰りの子供たちがベンチに座って話をしていたよ」「高齢者が座っていたから、困っていることがないか声をかけた」といったお話があり、目的としていた高齢者の移動支援だけでなく、地域住民の交流促進、見守り体制の強化にも貢献していることを感じました。

#### ◆千葉市生活支援コーディネーターより

この度、ホッとステーション事業との連携により「ベンチによる徒歩移動支援」に取り組みました。活動を通じ「地元のために」という地域の皆さまの想いに触れ、改めて地域の絆の深さを実感しています。皆様の想いをベンチというかたちで可視化できたことは、地域の連帯感と安心感を高める大きな一歩となりました。今後はベンチが外出時の休憩場所、地域の憩いの場となり、たくさんの笑顔あふれる交流が生まれることを期待しています。

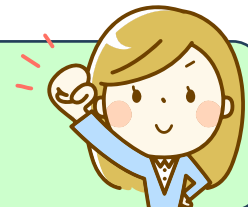
### <「クールステーション」活用体験談>



#### ◆SOU訪問看護ステーションより（千葉市）

熱中症予防ということでベンチを利用いただいている方へ夏場の暑いときにお水をお渡しさせていただきました。ただの予防だけでなく地域の方と話すきっかけにもなり、事業所のことを知っていただくきっかけにもなるとてもいい機会になりました。

## 5.協力機関同士の連携とネットワーク構築



### フードバンクさんぽ（食品の循環機能～地集地配～）

#### ○ホッとステーション活用による食の循環づくり

ホッとステーション事業ではネットワークを活用し協働機関同士をつなげ、食の循環を生み出しています。今年度はLINEWORKSやメールに加え「ホッとステーションInstagram」にて情報発信、情報交換を行っています。協力機関同士が提供可能な食品のアナウンスやイベント情報を共有しています。フードロスの削減、食の循環を生むことで地域の子ども食堂運営を助けると同時に、食に困っている方々の支援に大いに役立つことができます。

- ❖食品寄贈団体[定期] = 「6団体」
- ❖ホッとステーション協同機関内  
フードバンク団体 = 「3団体」
- ❖ホッとステーション協同機関内  
子どもの食支援団体 = 「16団体」



## SNSを活用した周知活動

### ○Instagramを活用した協力機関紹介

ホッとステーションの活動をより多くの方に知っていただくため、そして協力機関同士がより情報を共有しやすくするためSNSを活用しています。写真を主体とし、目に留まりやすく若者にも知っていただきやすい「Instagram」のアカウントを運用しています。ホッとステーションを知っていただくだけでなく、協力機関の宣伝としても役立てています。

1年間でフォロワー数は100人に達しました。



### ○LINEWORKSによる情報交換



協力機関同士のつながりを深めるため、情報交換ツールとして「LINEWORKS」を活用しています。地域のイベントや活動の様子を共有いただき、それぞれの機関の宣伝をしていただいています。また、ご寄付いただいた飲食物の提供案内をグループ内で行い、必要な団体様へ提供する食の循環の場としても活用しています。



### ○YoutubeでのPR動画

法人ホームページ内、ホッとステーションコーナーでは毎年度作成しているYoutube動画をアップしています。活動のPRとして協力機関の方々にも出演いただき、生の声をお届けしています。毎年開催されるホッとつながるフォーラムにて上映されますが、ホームページのリンクよりいつでもご覧いただくことができます。活動の内容をわかりやすく動画にまとめることで、より興味を持っていただき協力いただける機関を増やし地域に浸透していくことを目指しています。

## 6. ホッとステーション物語（エピソード紹介）

ホッとステーション事業を活用したことでのほっこりエピソードをご紹介します☆小さなきっかけが地域でのつながりを生んでいます。

### ☆軽費老人ホームにて☆

陽当たり良く住民の方がお散歩するコースにベンチを設置してみました。入居者の方がベンチに腰かけ、お外で話しをしている様子が見られました。また、ここは近くに小・中学校や保育園があるため登下校、公園への移動時にベンチで座る高齢者が見守りを担ってくれています。



### ☆訪問看護ステーションにて☆

千葉市に事業所をオープンし挨拶まわりをしていた際、まちで緑のベンチを見つけ気になったことから協力機関になりました。地域のつながりがない状態でしたが、ホッとステーションでつながることができた協力機関さんから訪問看護のご利用者様をお繋ぎいただき一緒に支援を行うことができました。いろんなつながりを実感することができました。



## 7. ホットとつながるフォーラム（2025年12月2日）

令和7年度のホットとつながるフォーラム2025を、山武合同庁舎4階大会議室で開催しました。テーマを「地域のつながりとベンチプロジェクト～「座」から始まる居場所支援と孤立・孤独へのアプローチ～」として、東京都豊島区高齢者福祉課志賀様、山本様による講演と、城西国際大学福祉総合学部准教授森山様をコーディネーターにお迎えして、居場所支援を実践されている、4団体の代表によるトークセッションを行いました。各取り組みから、ベンチというツールを利用することで、つながり易さをはぐくむという気付きを共有しました。

### 基調講演

豊島区高齢者福祉課 志賀友紀氏と 山本莉子氏より、「としまベンチプロジェクト」の取り組みを話しをいただきました。豊島区の調査で、高齢者の課題となっていた移動支援で、街歩きの休憩場所として始まったベンチの設置を、地域住民や事業所、専門学校生も巻き込んだ、豊島区ベンチプロジェクトに発展させ、ベンチの作成から設置、改修まで、住民主体で継続できる事業に発展させている。現在は、重層的支援整備事業の第1層の生活支援体制整備事業として継続していることを説明いただきました。



### トークセッション

城西国際大学 総合福祉学部 准教授 森山拓也氏のコーディネーターで、居場所支援と孤立・孤独へのアプローチをテーマに、トークセッションを行いました。

基調講演をいただいた、豊島区高齢者福祉課 係長 志賀友紀氏 主事 山本莉子氏にコメンテーターを担っていただきました。登壇者の皆様。

#### (1) 九十九里町生活整備体制事業の取り組み

発表者 九十九里町健康支援課高齢者福祉係長 並木理恵氏

#### (2) おしゃれサロンTAKI学びのプラットフォーム事業（美容室、子ども支援活動）

発表者 美容師 鈴木真也氏

#### (3) ぐるぐるカー（巡回相談・女性支援・居場所カフェ）

発表者 一般社団法人マザーズコンフォート

代表理事 大谷明子氏

各団体から、つながりの場、孤立、孤独の解消のための居場所、相談場所づくりの取り組みの発表を受けて、会場との意見交換を行いました。意見交換の中から、同じベンチに座るという行為が、人と人との距離を縮めてくれるという効果があることの気付きを共有できました。

コーディネーターの森山氏より、ベンチに座ると話がしやすくなるという発表には興味深いものがあるとして、アメリカでは、ベンチには誰かと一緒にになりたい、つながりたいという意味があるとことを紹介されました。

ホットステーション事業の目的と意義を深めることができるフォーラムとなりました。

2025年度ホットステーション企画（WAM助成事業）

ホットとつながるフォーラム2025

地域のつながりとベンチプロジェクト

～「座」から始まる居場所支援と孤立・孤独へのアプローチ～

■日時 2025年12月2日(火)13:30～16:30(受付13:00)

■会場 山武合同庁舎4階大会議室(奥金平美術室1-11)

■定員 先着80名様 対象者 本テーマに興味のある方

実践報告

◎2025年度  
ホットステーション紹介動画  
◎本フォーラム事業 実践報告

講演

としまベンチプロジェクト  
～「座」から始まる居場所支援と孤立・孤独へのアプローチ～

講師 志賀 友紀氏・山本 莉子氏  
東京都豊島区高齢者福祉課係長・主事

トークセッション

テーマ「居場所支援と孤立・孤独へのアプローチ」

コーディネーター  
城西国際大学福祉総合学部准教授 森山 拓也氏

コメンテーター  
東京都豊島区高齢者福祉課生活支援体制整備係長

登壇者

並木 理恵氏  
九十九里町健康支援課高齢者福祉係長

鈴木 真也氏  
美容室 TAKI 代表

大谷 明子氏  
マザーズコンフォート 代表理事

お問い合わせ先

ホットステーション事務局(中野区福祉支援センター5階505号室)  
TEL: 0475-777-7531 / メール: san.net@npo-irrk.jp 又は 山武合同庁舎4階大会議室  
〒114-8501 東京都荒川区西日暮里5-1-1 山武合同庁舎4階大会議室

【申込方法】無料(1名200円)

申込締切 11月20日

申込方法 申込書(申込書)をダウンロードし、お申し込みください。

申込書ダウンロード

申込書ダウンロード





城西国際大学 福祉総合学部 森山拓也



## ホッとステーション事業の4年間の事業分析とその評価

### 1. 事業の背景と地域づくりの理念

現代社会において深刻化する孤独・孤立対策は、個人の生活課題に留まらず、地域福祉政策における最優先の課題である。不登校、ひきこもり、生活困窮といった複合的かつ複雑な課題に対し、従来の縦割りのフォーマルサービス（公的制度）のみでは「制度の隙間」を埋めることが困難となっている。ホッとステーション事業（以下、本事業）が提唱する「地域づくり」は、こうした限界を打破し、既存の社会資源を再定義することで、持続可能な地域共生社会の土台を構築しようとするものである。

#### 理念の体系化：シームレスな移行を支える機能的補完性

本事業が定義する5つの主要な事業（全世代対象の居場所、就労支援、食の循環、生活困窮支援、資源の可視化）は、個別に存在するのではなく、当事者のライフステージや困窮度に応じた「シームレスな移行プロセス」として体系化されている。

「点（居場所）」としてのアクセスポイントで把握された潜在的なニーズは、アウトリーチを介して「食の支援（緊急・生活支援）」へと繋がり、さらにそれが「就労・社会参加支援（自己実現）」へと至る。この「点」をネットワークという「線」で結び、最終的に地域全体という「面」を活性化させる構造こそが、本事業の核心である。

#### 独自性：ソフトの共有スキームとしての広域インフラ

本事業の最大の特徴は、物理的な施設整備（ハード）に依存せず、既存の民間資源が持つポテンシャルを「ソフトの共有スキーム」として統合した点にある。医療、商工、教育、寺社といった異業種が、それぞれの「人・モノ・情報・場所」を可能な範囲で分かち合うことで、生活圏域の中に日常的なセーフティネットを構築した。

また、千葉県山武圏域を中心としたこの取り組みは、行政区画の枠を超えた「広域型インフラ」として機能している。一自治体のリソースでは完結し得ない重層的な支援を、広域連携によって担保するこのモデルは、ネットワークの飛躍的な拡大を導く強力な原動力となった。

※分析における数値は、2026年1月末の数値を元に作成しております。

集計の時期により若干数値が異なります。

## 2. 4年間の量的・質的変化：ネットワークの拡大と多様化

2022年度の始動から2026年1月時点に至る4年間で本事業のネットワークは成長を遂げ、地域社会の質的な変容を加速させてきた。

### 機関連携の成長分析：潜在ニーズの可視化

図1、図2にあるように登録機関数（220機関）および活動箇所（18市町村）への推移は、本事業が地域に潜在していた切実なニーズをすくい上げてきたことの証左と言える。

### 参画主体の多角化と「心理的ハードル」の低下

図1の参画主体の内訳（2024年度）を見ると、医療・福祉（48%）を核としつつも、商工（18%）、飲食（8%）、公共、観光、教育、寺社など13の多様な分野が参画している。この「非福祉」分野の参画こそが、当事者にとっての「福祉施設へ行く」という心理的ハードルの低下につながると考えられる。

商店や寺社といった日常の導線上に「顔の見える関係性」が配置されたことで、制度からこぼれ落ちていた層への自然なアプローチが可能となる。

### 官民協働の深化と持続可能性の確保

当初、公共機関は「リスク回避」を最優先し、公共施設への設置には慎重な姿勢を示していたように思われる。しかし、2年目以降、活動の公的意義が浸透するにつれ、「リスクより効果」を重視する意識変容が起こり、対等なパートナーシップが構築された。特に、行政の熱中症対策と連動した「クールステーション」の取り組みは、官民が共通の課題解決に当たる持続可能な連携体制の象徴となった。この拡大したネットワークは、具体的な支援活動において以下の顕著な成果を上げている。

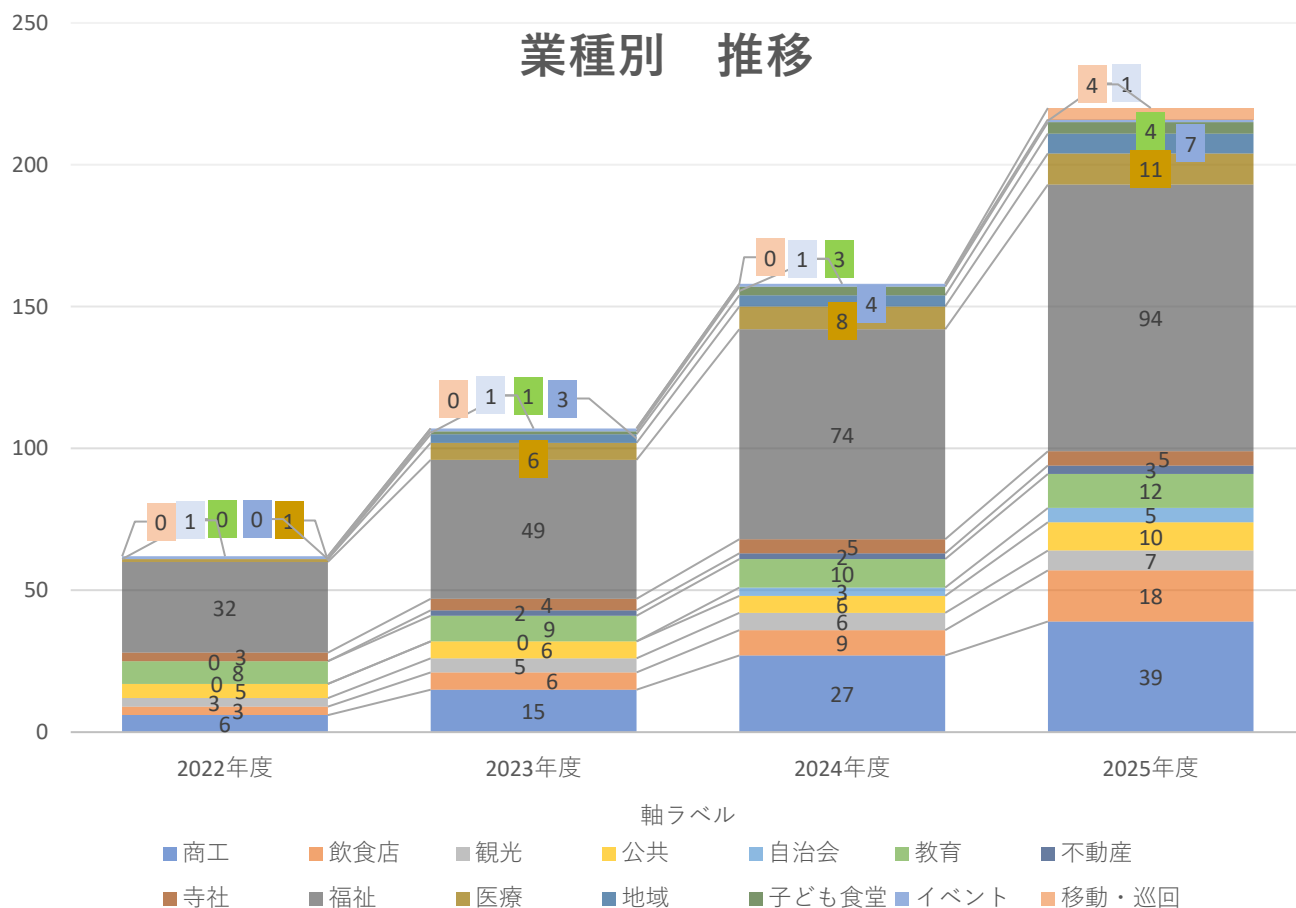
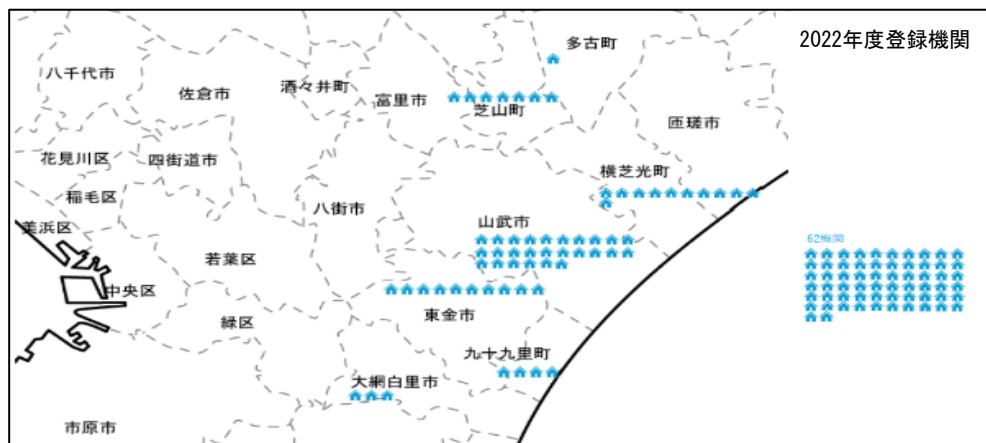


図1 4年間の登録機関の業種別推移



**2022年度(初年度)**  
 ⇒ 62機関  
**2026年1月時点**  
 ⇒ 220機関  
 (4年間で約3.5倍の  
 飛躍的増加)

### 【展開エリア】

7市町村から18市町村へ拡大。この3.5倍という成長率は、単なる事務局の拡大努力の結果ではない。

既存のフォーマルサービスでは救いきれなかった層がいかに地域に存在し、かつ、それを受け止める意欲を持つ民間主体がどれほど眠っていたかを如実に示している。

山武圏域から始まった本モデルは、今や千葉県全域に波及し得る標準モデルへと進化を遂げている。

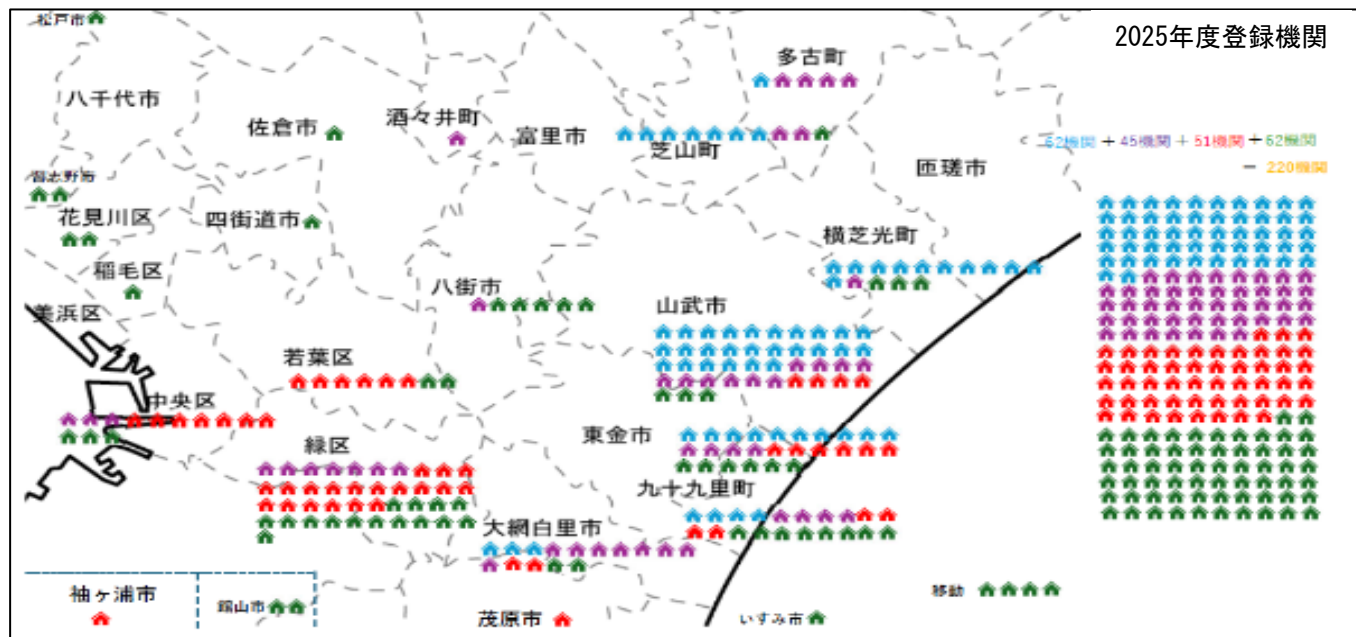
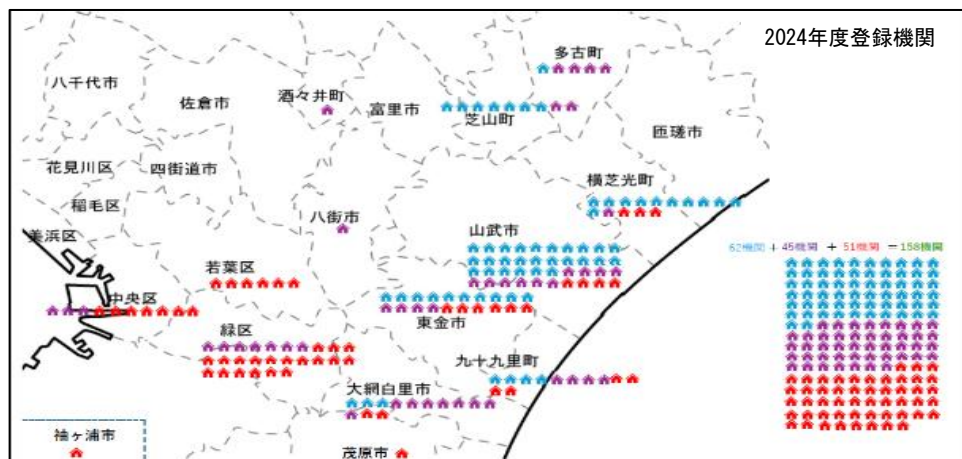
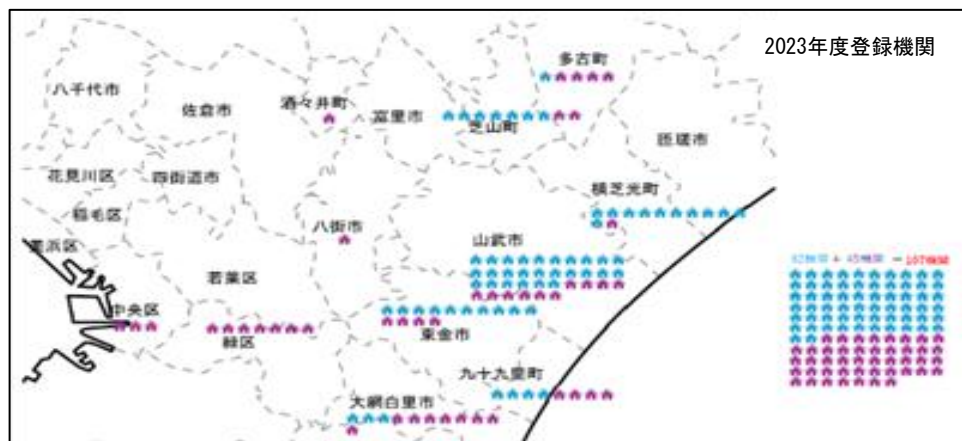


図2 4年間の登録機関の地域別推移

### 3. 主要事業における成果と住民満足度の検証

4年間の実践を通じて確立された「地集地配（地域で集め、地域で配る）」サイクルは、実効性の高い支援実績を裏付けている。

#### 食の循環実績の可視化：地域内バッファとしての機能

フードバンクと「ちいき食堂」を連動させた循環サイクルは、以下の通りの実績を上げている。

表 1 食の循環実績

| 項目             | 実績（2025年度/2026年1月時点） |
|----------------|----------------------|
| フードバンク寄付受付量    | 約34.2トン（400件）        |
| 物資配付実績         | 約23.7トン（636件）        |
| ちいき（子ども）食堂開催回数 | 83回                  |

特筆すべきは、寄付受付量（34.2t）と配付実績（23.7t）の差分である。この約10.5トンの余剰は、単なる余りではなく、災害時や急な困窮ニーズに対応するための「地域内備蓄（バッファ）」として機能しており、地域全体が「蓄えのある安心感」を共有していることを示唆している。

#### 満足度データの構造的分析

関係者アンケートの結果は、各事業の特性を反映した興味深い傾向を示している。

- ❖ ホットステーション（クールステーション）事業：満足度 90.4%  
（「大変満足」32.3%、「満足」58.1%の合計）  
背景：夏季の避暑機能と物資配付が地域の切実な公的ニーズに完全に合致した結果である。
- ❖ ひきこもり支援・就労機会提供：満足度 69%  
背景：居場所をきっかけとしたボランティアから食品製造業等への一般就労に繋がった成功事例が高評価に寄与している。
- ❖ SNSを活用した情報発信：満足度 46.7%（「どちらでもない」が50%）  
背景：46.7%という数値は、現役世代（子育て層・ひきこもり層）への情報拡散に一定の効果を上げている一方で、デジタルデバインド層（高齢者等）への到達に課題があるという構造的な隔たりを反映している。

#### エピソードによる社会的包摂の検証

現場からは、シンボルである「緑色のベンチ」がもたらす社会的包摂の効果が報告されている。「広いベンチがあると安心して外出できる」という高齢者の声や、「公園でのママ友関係に疲れた際、ベンチでお年寄りに手を振ってもらうだけで温かい気持ちになる」という母親のエピソードは、ハードウェアとしてのベンチが、多世代交流による社会的孤立の緩和に直結していることを物語っている。



## **4. 制度的・政策的視点からの考察：重層的支援と水平的連携**

本事業は、「重層的支援体制整備事業」および「孤独・孤立対策推進法」が目指す姿を地域レベルで高度に具現化した先駆的なモデルである。

### **重層的支援の三柱との整合性**

本事業は以下の3点を一体的に体现し、法が求める自律的なセーフティネットの実装に成功している。

1. 相談支援（アウトリーチ機能）： 特別な目的がなくとも立ち寄れる「居場所」が、既存制度に繋がりにくい層への「アウトリーチ（早期発見・介入）」の入り口として機能している。
2. 参加支援（就労体験）： フードバンクのボランティアや協力企業での柔軟な就労体験を通じ、社会との接点を再構築する機会を提供している。
3. 地域づくり支援（バックアップ）： 個別の活動を「点」で終わらせず、全体を支える「土壌」としての役割を果たしている。

### **水平的連携と生活圏域アプローチ**

行政区画に縛られず、住民の「生活圏域」を対象とした広域的なアプローチは、孤独・孤立対策推進法が重視する「水平的連携」の高度な実装である。14分野にわたる多主体が対等かつ自律的に協力する関係性は、縦割り行政の限界を補完する「地域社会の共有インフラ」としての価値を確立した。

### **「土壌」への役割シフトと持続可能性**

事務局が「直接の活動主体」から「地域の多様な活動を支えるバックアップ役（土壌）」へと戦略的にシフトした意義は大きい。これにより、支援の非属人化が図られ、各機関が本業の傍らで無理なく協力できる「持続可能なプラットフォーム」が確立された。これは、特定の人材に依存しない地域福祉の継続性を確保する上で極めて重要な成果である。

## **5. 総合評価と持続的发展に向けた提言**

4年間の活動を総括すると、本事業は千葉県における地域共生社会の「インフラ」として定着し、多機関協働モデルとしての地位を確立したと考えることができる。

### **（1）総合評価：社会的価値の証明**

「市町村の枠を超えた広域の土壌」を構築し、多団体協働の成果が認められ「ちばコラボ大賞」を受賞したことは、本事業が提示したモデルの有効性を社会的に証明するものである。単なる「場所の提供」を「多機能型の支援」へと昇華させた実績は、今後の地域福祉の道標となるだろう。

## (2) 持続的発展に向けた具体的提言

今後の更なる深化に向け、以下の3点を提言する。

(1)さらなる周知と制度的組み込み：自治体が所管する既存の福祉に関する協議会だけでなく、様々な形で開催される地域住民の集会等で本事業を周知するとともに自治体においては本事業を具体的な「社会資源」として位置づけ、相談支援スキームの中に制度的に組み込むこと。

(2)デジタル・周知の構造的工夫： デジタルデバイド層には、アナログな「生活支援体制整備事業」との連携を強化し、現役世代にはSNSや二次元コードを用いた「マップのプラットフォーム化」を加速させるなど、ターゲット別の周知戦略を構築すること。

(3)ハイブリッドな財源構成による安定化： 広域的な運営を維持するため、生活支援体制整備事業や熱中症対策事業（クールステーション）など、既存の公的予算との紐付けを図り、公的支援と民間資源を組み合わせたハイブリッドな資金確保スキームを検討すること。

## (3) 最終総括

「ホッとステーション」事業は、地域のつながりを「緑色のベンチ」や「のぼり」という具体的なシンボルマークを媒介とした、ソフトな横の連帯として具現化した。このように多様な主体が「できること」を持ち寄る本モデルは、今後の地域福祉政策における多機関協働の標準モデルとなり得る価値を有していると考ええる。



## 9. ホットとステーション活動の分析・評価を受けて

### 効果・分析を受けて… ホットとステーション事業の新たな展開と決意

4年間の足跡(活動)を客観的に見続けてくださる森山先生から評価分析いただくことで、毎年、私たち自身が活動を振り返り、整理し、次への一歩に向けて目標を立てて歩ませていただいております、たいへん感謝しております。

ホットとステーション事業を「シームレスな機能補完的取り組み」と表現していただき本事業のイメージがしっくりきました。

分析を受けて、4年間の変化を下記のことを再認識致しました。

#### 1. 山武圏域及び周辺地域の活動から千葉県域の事業へ

地方部の孤立・孤独対策・重層的支援体制の一端を担うことが目標であった事業

⇒都市部・地方部の共通課題解決のための全県への活動拡充と水平的連携の自然発生

#### 2. 拡充活動方法の変化

1企業・団体への協同機関加入勧誘中心 ⇒ 加入希望団体申込増加と事業活用提案中心

#### 3. 公共機関・団体の捉え方の変化

「リスク回避」案件枠の事業認識 ⇒ 「リスク < 効果」案件枠の事業認識となった。

#### 4. 活動・取り組みの見える化

食の循環を活用することでの「活動の見える化」が図られた。

#### 5. 直接的活動からバックアップ(支援団体支援)活動へのシフトチェンジ

プラットフォームとしての役割とコーディネートおよびコンサルティング機能を持つ必要性を強く実感した。

そして、持続可能な事業、持続的発展に向けた提言を踏まえ、今後は「機関・事業拡充」から「事業活用・制度政策化」へシフトチェンジしていきたいと考えています。

ホットとステーションやシンボルアイテムであるホットとステーションベンチが“無”名から一部では“有”名となり認識されつつあるように、本事業が「一時的な助成事業」ではなく、「多機関協働の標準モデル」となるよう、今後も事業方針を定め、事業を行っていききたいと思います。

本事業が、皆様にとっての地域が、今より少しでもより良く風通りが良くなるための一助となるよう、地域の皆様及び協同機関の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

(ホットとステーション実行委員会一同)

### 【今後の活動指針】

#### 1. 拡充から活用へ

→本事業の地域別活用実践の積み上げと可能性の追求

#### 2. プラットフォーム機能強化

→「住民－協同機関－地域」の相互活用による地域活性化

#### 3. 持続可能な事業運営

→人的・物的・経済的基盤の確保と制度化・施策化による地域への浸透化



2022～2025年度

千葉のいたるところで  
『気軽に居てもイイ』居場所を

**増やす**活動

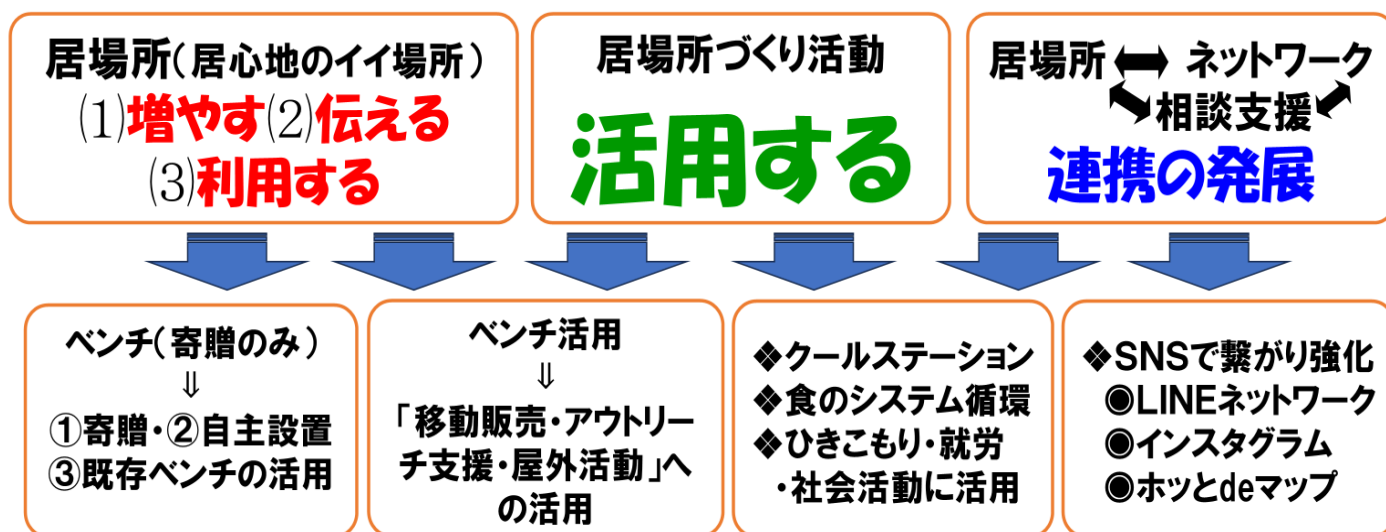
2026年度～

千葉のいたるところで  
『気軽に居てもイイ』居場所を

**活かす**活動

## 今後の方向性①

## 機関・地域拡充 から 活用・浸透化 へ



※持続可能な活動のため、地域に溶け込む活動となるため、協同機関と共に活動展開する。

## 今後の方向性②

### プラットフォーム化、制度・政策化 へ

### (1) ホットステーション事業

#### 「全体」の活用

①ホットST機関として一緒に！  
(協同機関活動)

②ホットST事業を我が街(自治体)に！  
(コーディネート活動)



③市町村の枠を越えた「居場所・ネットワーク・相談支援連携」のハブ機能強化  
(プラットフォーム事業)

### (2) ホットステーション事業

#### 「一部要素のキリトリ」活用

①ベンチプロジェクト

②クールST(避暑場所)

③食支援システムの循環

④社会・就労の場所づくり

⑤人・居場所ネットワーク

⑥官民協働

⑦相談支援ネットワーク体制

千葉県・市町村・地域のつながり・各分野の制度において、ホットステーション事業の「一部要素」を切り取って活用してもらうことで、「地域社会のつながり」の一助となる。



# みんなの心のよりどころ とステーション



## ホットステーションとは・・・

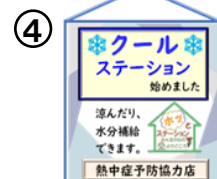
【点】となる様々な居(イイ)場所  を、【線】となるネットワークで繋ぐことで、  
【面】となる地域が活性化し過ごしやすい地域社会とする活動です。

### 地域の機関・団体・店舗の皆様へ～協同機関・店舗大募集！～

○協同って何すればいいの？

⇒居場所の目印となるよう、①ステッカーを貼る、②のぼり旗を立てる、③ベンチを置く、④夏季限定クールステーションとして涼み処となる など、可能な範囲で地域への協力をお願いします。

⇒協同機関同士がSNSで繋がり合い、平時の活動状況や催事情報の発信、災害時の互助ネットワークとして連携しましょう。(※情報交換&災害互助ツール)



❖ご質問・ご提案等は、お気軽にご連絡ください。

問合先：ホットステーション実行委員会[事務局：NPO法人リンク]  
TEL：0475-77-7531 ☑：info@npo-link.jp



Instagram

法人HP・  
QRコード



資料1

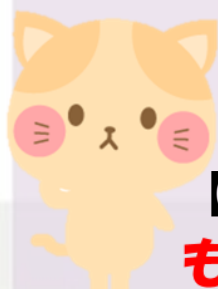
地域の皆様向け



と  
ステーション



?? どんなところにゃ??



困った事も聞いて  
もらえるにゃ??

【地域の皆様向け】

もちろん！疲れた時の一休みが  
出来ます！！

誰もが気軽に立ち  
寄れる場所です！



一部の機関では、  
相談できたい物  
資支援等も受け  
取れます！



- ・ いろいろな地域の機関・団体・店舗が「可能な範囲」でゆっくりできる場所、誰でも気軽に立ち寄れる「居場所」を提供しています。どうぞご利用ください！！
- ・ 令和5年3月現在69か所に設置しています。



このマークが目印！



ベンチ



のぼり旗

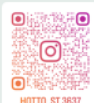


ステッカー

夏限定  
クールステーション



法人HP・  
QRコード



Instagram

質問等お気軽にお電話  
ください！お待ちしております。

問い合わせ先：特定非営利活動法人リンク  
TEL： 0475-77-7531  
携帯： 080-2597-3637



## ホッとステーション実行委員会

特定非営利活動法人リンク / 山武市成東地域包括支援センター / 横芝光町福祉課  
 芝山町福祉課 / 山武市松尾蓮沼地域包括支援センター / 千葉市あんしんケアセンター土気  
 特別養護老人ホーム吉祥苑 / 山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター  
 有限会社あいの手介護サービス / 木下の介護 / 城西国際大学福祉総合学部 / おおあみの里  
 山武市社会福祉協議会 / 社会福祉法人みのりの村 / ハッスルスマイル土気 / 鏡戸病院  
 LEC JAPAN

発行日：2026年3月

## 11. プロモーション動画（活動をわかりやすく紹介しています）

**プロモーション動画  
(最新版)**  
QRコード読取

2025年度  
インタビュー編





|                             |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>プロモーション動画</b><br>QRコード読取 | 2024年度<br>山武圏域及び<br>周辺地域編                                                         | 2024年度<br>千葉市周辺編                                                                  | 2023年度<br>インタビュー編                                                                  | 2023年度<br>ホッとつながる<br>フェスタ編                                                          | 2022年度版                                                                             |
|                             |  |  |  |  |  |

**SNS  
・  
HP  
関係**

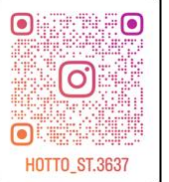
ホッとステーション/  
マップ



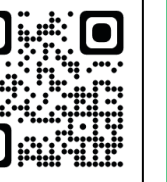
フードバンクさんぶ



ホッとST  
Instagram



寄附・協賛金募集





山武助成  
独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

## 12. 事務局・発行元情報



### ホッとステーション事務局・発行元

#### 《特定非営利活動法人リンク》

- ❖中核地域生活支援センターさんネット     /     ❖障がい者グループホーム支援事業
- ❖さんぶ相談支援センターリンクサポート
- [生活困窮者自立支援事業（山武郡・県）   / 生活困窮者家計改善事業（山武郡・県／山武市）]
- ❖あいリンク[生活困窮者就労準備事業]（山武郡・県）
- ❖生活自立・仕事相談センター・緑（生活困窮者自立支援事業・千葉市）
- ❖子どもナビゲーター緑（千葉市）
- ❖横芝光町スマイルキッズ（子ども第3の居場所づくり事業）
- ❖よろず相談支援センターぬくもり（特定相談支援事業・一般相談支援事業・障害児相談支援事業）
- ❖グループホームぼんぼら（共同生活援助事業）     /     ❖はれはれ（日中一時支援）
- ❖多分野多職種連携活動ゆるネット     /     ❖ホッとステーション事業（WAM助成）
- ❖フードバンクさんぶ     /     ❖ちいき食堂ほのん     / ❖心のいずみ     /     ❖ひきこもり支援事業   他

#### 《ホッとステーション事務局所在地》

〒298-1345 千葉県山武市津辺252-1  
 電話0475-77-7531   FAX0475-77-7538  
 Email [info@npo-link.jp](mailto:info@npo-link.jp)

